

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	百貨店（営業担当）	それ以外	・客の購買意欲もかなり改善し、客単価も上がり、高額品も売れるようになってきた。特に若年層の購買意欲が高まっている。
		自動車備品販売店（従業員）	販売量の動き	・降雪による特需が好影響し、売上が伸びた。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・冷え込んでおり、冬物衣料がかなり堅調な動きで推移している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・寒さが続き、客の出足が悪いが、お歳暮等で百貨店に出向く客が商店街を回遊し、少し来街者が増えている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・12月になって気温が前年より5度近く低いため、コートを中心に重衣料が好調である。一品単価もウールのロングコートが好調なため8000円近く上がっている。例年であれば年明けのクリアランスを待つ客が大半だが、今年は待たずに購買する客が多く見られた。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・当ビルのキーテナントである百貨店の売上額が、12月に入ってからの寒波の影響で、防寒衣料を中心に前年に比べ大きく伸びている。同じく専門店もアパレルを中心に、好調に推移している。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・今年のクリスマス商戦は連休前の盛り上がりは少なかったが、連休中は好調であった。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・販売量は前年比微増となっており、商品別では、相変わらず高額品の動きが堅調である。特に特選ブランドや高級腕時計、高級婦人服の動きが良い。加えて、先月からの気温の低下により、婦人服、紳士服ともに重衣料を中心に好調に推移している。一方、お歳暮を始め、ギフト需要は低下傾向にある。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・ボーナス支給額アップ等により、紳士服衣料の動きがよくなってきている。また、お歳暮ギフトも受注件数は減ったものの、受注単価が高まっている。
		百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・百貨店の柱であるギフト需要は、前年を超えて推移している。ピークにあたる中盤の積雪でピーク時の実績を落としたものの、冷え込みが厳しく、冬物商品が堅調に推移している。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・9月の売上は前年比96～97%と悪かったが、10月、11月と100%を超えた。12月も100%を超え、3か月連続で前年実績を上回っている。来客数は97～98%と低調ではあるが、コート等の衣料品関係が好調で客単価が上昇している。
		百貨店（業務担当）	販売量の動き	・販売商品の動きに変化が見られ、これまで後回しにされていた紳士物に動きが出てきた。衣料品も雑貨も大きく落ち込むことがなく、堅調に動いている。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・近年まれに見る寒波到来で、冬物の防寒衣料等の動きが活発となり、百貨店全体の売上をリードした。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・寒さで防寒物を求めてくる客が非常に多く、特に肌着関係が好調に推移していた。また、紳士カジュアルのアウトウエアの動きはこれまでにないほど堅調であった。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・寒さが増し、冬物衣料や鍋物材料が非常に良く売れている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・競合店の影響が一巡し、客単価が昨年より2か月続けて上がった。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・これまでは食品が比較的好調に推移していたが、寒波の到来により衣料品、住居用品についても前年並みに売上が推移してきた。食品から衣料品、住居用品にも客の購買意欲が高まってきた。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・家電は液晶テレビ、衣料品は3万円台のブランドジーンズ等の高額商品の動きが少し始まった。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・製造業を中心としたボーナス支給額の伸長や11月後半からの冷え込みが12月に入り更に強まり、鍋物やホットメニュー商材である精肉、練製品、野菜が特に活発に動き、客単価を押し上げている。

スーパー（経理担当）	販売量の動き	・前年の青果物高騰の影響も終わり、久しぶりの寒波到来で、食品、衣料品ともに冬物商材の動きが活発である。
コンビニ（経営者）	それ以外	・競合チェーンの出店等により、5店舗のうち4店舗については相変わらず前年割れである。しかし、1店舗だけは回復するという状況が出てきたので、少しはいい方向に向かってきた。
コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・年末のクリスマスケーキの売上が2けた増となり、生餅も国内産の餅米に変えたことで、売上が非常に上がった。
衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・3か月前は秋の立ち上がりで残暑もあり、苦戦していたが、今月は単価の高いコートが多く出ており、他の商品もかなり出ているので、いい方向にいている。
衣料品専門店（店員）	販売量の動き	・寒波の影響で防寒衣料がセール前にも関わらず、好調であった。いつもはセール前で買い控える年末も、コートやダウンジャケットが売れ続けた。
衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・ヤング婦人物と婦人雑貨物の販売量が急増している。宝石や着物も売上が上昇しており、紳士物も徐々に前年比増となっている。
家電量販店（総務担当）	単価の動き	・年末商戦において、高付加価値・高額商品の動きに拍車がかかってきた。
家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・薄型液晶テレビ等の高額商品がかなり動いている。
その他専門店 [ガソリンスタンド]（統括）	単価の動き	・原油高騰が広く認知され、需要家の値上げに対する反発心が弱まった。
その他専門店 [ガソリンスタンド]（統括）	お客様の様子	・燃料油の小売価格は依然高止まり感があり、灯油も前年より高い。賞与が支給されたせいか、客は余裕を持って燃料油を購入している。売上数量としても、寒さの到来が早かった分、数量は増加している。
高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・忘年会でかなり忙しい時期であった。来客数もさることながら客単価も例年に比べてやや良くなっている。
高級レストラン（専務）	来客数の動き	・忘年会時期で出だしが良く、休前日ではない日曜から木曜でも、割と客が入ってくる。
高級レストラン（スタッフ）	お客様の様子	・注文される料理の内容が良くなっている。先日来の寒波で、少し客足は遠のいているが、消費志向は強い。
一般レストラン（スタッフ）	単価の動き	・今回の忘年会プランを通常プランとプラス1,000円のぜい沢プランの2種類準備したが、ぜい沢プランの方がよく出た。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・愛知万博も終わり、長崎市は「さるく博」の開催や美術館、歴史文化博物館などができたので、予約は増えつつある。
都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・宿泊単価は高くないものの、個人の宿泊がどんどん増えている。
タクシー運転手	来客数の動き	・天候のせい、日中の客がよく動いたほか、忘年会シーズンは夜も良く動き、全体的に伸びている。
タクシー運転手	お客様の様子	・ボーナス支給額の伸長等により、少しずつ動きが良くなっている。景気が良くなる傾向が見え、財布のひもも緩んでいる。
通信会社（管理担当）	来客数の動き	・数か月の間、商談に切れ目がない。
競輪場（職員）	販売量の動き	・例月の発売額が、昨年と比較して落ち幅が低い。
設計事務所（所長）	お客様の様子	・建築の企画、計画の話だけでも持ってくる客が増えた。
変わらない	商店街（組合職員）	・恒例の歳末大売出しを行った結果、バーゲンと福引景品を楽しみに、期間中の来街者数は増加した。しかし、良いものを安く、さらに必要品のみを購入しており、購買に慎重さがうかがえた。
	商店街（代表者）	・単価の高いものが少し売れた。
	商店街（代表者）	・身の回り品などは好調に推移しているが、高級品、おしゃれ用品などには買い控えが多い。
	一般小売店[鮮魚]（店員）	・年の瀬を迎えて平日よりは売上が上がるが、例年よりは少ない。

百貨店（営業担当）	お客様の様子	・寒波の到来により防寒衣料、雑貨が好調に推移しており、前年実績をクリアした。一方、歳暮ギフトの購入単価は伸びたが、中元同様、届け先の減少などにより、前年割れの状況が継続している。クリスマスもギフトより自分のための物の購入が増えた。	
スーパー（経営者）	販売量の動き	・客の買物が多極化してきている。良いものは高くても売れ、中途半端な安さでは物が売れない。	
スーパー（店長）	単価の動き	・クリスマス用品やオードブル、おせち材料、おせちそのものは、以前に比べて高額品が出ている。	
スーパー（店長）	販売量の動き	・食料品は前年の98%前後で横ばいとなっている。衣料品は、寒波の到来により、紳士服・肌着関係を中心に今までのトレンドから25%増加し、前年比105%程度で推移している。商品が欠品し、取引先にも入っていない状況である。住まい関連があまり動きが良くないので、総合的には前年と変わらない。	
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・ボーナスの支給後ではあるが、買上点数の増加や、高単価商品の購入には結びついていない。	
コンビニ（店長）	来客数の動き	・季節商品でクリスマス商品が少し売れたが、大きな変化はない。	
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・寒さで人手が多いかと思っただが、逆に雪などで客足は遠のいた。	
家電量販店（店員）	販売量の動き	・全体的な底上げとして、デジタル家電、液晶テレビ、DVDレコーダー等が中心として引っ張るには、今ひとつである。	
その他飲食〔居酒屋〕（店長）	来客数の動き	・県外客が主になる商売をしているが、県外客の流れが少なかった。	
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・年末年始は前年比109%で推移し、海外は特にヨーロッパ、オーストラリア、国内は宿泊・バス旅行が好調である。	
タクシー運転手	お客様の様子	・寒さが増してきており、昼間の客が少なく、夜の忘年会帰りの客の方が多い。	
タクシー運転手	来客数の動き	・忘年会の客は週末の金、土に集中しており平日はほとんどない。金、土も2次会、3次会に流れる客が以前に比べ、非常に少なくなっている。しかし、雪の日が何日もあり非常に忙しかった。全体的には、横ばいもしくは下降気味である。	
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・インターネット加入者が頭打ちとなっている。また競合大手も販売奨励金を引き下げており、業界全体として新規契約獲得より、ユーザー単価向上に目を向けている。しかし、当社含めて大きな成果は出ていない。	
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・宿泊については、例年閑散となる12月前半からクリスマスプランを仕掛けて底上げをし、前年より良い数字が出た。ゴルフも好調な動きであった。	
設計事務所（代表取締役）	お客様の様子	・建設業界は、新たな住宅団地開発の動きは少なく、販売も特定の開発を除いて好調とは言えない。公共工事は、予算が確保ができない中で発注件数が少ない。	
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・販売量に動きがあり、契約や商談が入るようになった。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・歳末商戦の時期であるが、普段と変わらない状況で、商店街の来客数が昨年より少なくなっている。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街唯一のスーパーが破産し、人通りも少なくなり閑散としている。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・職種によって多少違うが、客の動きも消費もあまり良くない。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・例年にない寒さのせいで、商店街に来る客は大変少ない。
	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・クリスマスケーキやお歳暮ギフト等の予約商品については、昨年実績よりかなり下回っている。予約された商品も昨年より単価が下がっていて、全体の売上も下回っており依然厳しい状況である。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・寒波の到来により来客数が減った。
	住関連専門店（経営者）	単価の動き	・売上伝票枚数は昨年と変わらないが、売上金額は相当減っている。例年、12月は学童机が動き出すが、今期は動きが悪い。

		高級レストラン（経営者）	競争相手の様子	・飲食業界でも価格破壊が一段と進み、安い店へのシフトが続いている。	
	悪くなっている	百貨店（営業担当）	それ以外	・5月の大型ショッピングセンターがオープンしてから近隣商店街では、シャッターが下りる店が急増し始めた。	
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・暖冬の予想で冬物の仕入れを控えていたが、思いがけなく寒い冬が到来し、メーカーにも在庫無く、更にあまりの寒さで客足が途絶えた。	
企業動向関連	良くなっている	広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・下期に入って2けたの伸びである。	
	やや良くなっている	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・この寒さで鍋物商材を中心に忘年会等により、かなり伸びてきている。居酒屋関連、スーパー等の小売も12月後半に伸びてきている。	
		家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・商業施設やマンションなどの建築はおう盛である。懸念材料の一つに耐震強度偽装の問題があり、マンションの新築予定が延期といった状況もみられる。	
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・半導体関連の動きや精密機械部品関係の動きからすると、11月から1月にかけての動きが非常に活発になってきている。まだまだ多少のムラはあるが、動きとしては全体的に非常に多忙を極めている。	
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新八代 - 博多間の九州新幹線の工事があり、良くなっている。	
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・取引先、特に融資先の建設業、サービス業の売上が前年比で若干上がっており、預金の増加や利益の改善も見込めるため、良くなっている。	
		新聞社（広告）	受注量や販売量の動き	・百貨店など広告主の動きが、少しずつ良くなってきた。	
		経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・関係先で飲食、サービス関係の売上がかなり上がっている。タクシーも前年比10%程度の伸びを示し、人が動き、消費が活発になっている。	
		変わらない	農林水産業（従業員）	取引先の様子	・鳥インフルエンザの影響等で、価格的にもやや落ち込んでおり、景気は良くない。
			繊維工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注が多少出てきた。しかし、相変わらず生産性が悪く、工賃の少ないものが多い。そのような仕事の受注はある。
		窯業・土石製品製造業（取締役）	競争相手の様子	・メーカーの様子は、リストラ等も整理され、安定している。一方で原油、資材が高騰し、人件費も若干高騰するという状況から、良い面も悪い面もあり、現状のままで推移していく。	
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合いはあるが、出図が遅れて正式受注に結びつかない。	
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・年末ということもあり荷動きが激しいと思ったが、通常の12月の動きほどはなく、まだまだ低迷している。	
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・荷動きは前半悪く、後半良くなった。寒くなったために、冬物衣料品や鍋物スープが動いたが、景気が良くなったとは言えない。	
		金融業（得意先担当）	取引先の様子	・取引先の資金需要も大きな動きが見られず、まだ景気は上向きとは考えられない。	
	やや悪くなっている	輸送用機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・少量多品種で単一的に全く採算が合わない。	
		建設業（総務担当）	取引先の様子	・下請業者の中には賞与もなく、忘年会も取りやめになったという会社が数件あった。	
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・資金需要が低迷している。	
		その他サービス業〔物品リース〕（役員）	取引先の様子	・この数か月無かった、取引先の資金繰りの悪化による延滞や、民事再生法等の移行、すなわち事実上の倒産が今月に入り数件出てきた。業種別では特に、建設業等が非常に厳しくなっている。	
	悪くなっている	農林水産業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・ピーマンの販売価格は、前年同月比73%と採算ラインを大きく割っている。台風14号の影響から苗の生育が悪く、現時点での収量は伸び悩んでいる。また、重油の価格高騰により経費が増大し、このままでは多くの農家が大幅な赤字となる。	
雇用関連	良くなっている				

やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣依頼に対し派遣登録数が減少しており、直接雇用で就業が決まるケースが多くなっている。
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・長期派遣の需要が増えている。業界問わず仕事量が増えている。
	求人情報誌製作会社（経営者）	それ以外	・今まで伸び悩んでいた冬物衣料が、寒波により動き始めた。暖房用の家電品も好調である。正月用の生鮮食品では県内で生産されている葉物野菜が低温のため品薄状態になっており、若干値上がりする。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・流通関連の動きがよく、消費につながっている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前年同月比22.7%増となっており、新規求人数、新規求人件数どちらも4か月連続して前年を上回っている。求人数にとどまらず求人件数も大幅に増加しており、景気は改善している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は引き続き堅調に推移しており、新規高卒求人も前年同期比26%増加している。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・大幅な増加を示していた新規求職者数の動きに、鎮静化が見られる。
	民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・求人数の前年同期比が10%増で推移しており、一部の業種や職種では人材不足が懸念される。
変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣のオーダーの傾向として季節柄、短期が多い時期であるが、今期は長期派遣のオーダーが多い。
	求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・例年に比べると12月前半はアウトソーシング業を中心に求人が活発だったが、その背景には人手不足がある。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の動きは、ほぼ横ばいで推移している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年同月比で求人数は伸びており、同時に求職者数も伸びている。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	周辺企業の様子	・雇用形態が同じような契約や、パートの求人状況が多い。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-